

令和7年8月25日

（反訳省略）

「九頭竜川総合水系環境整備事業」

【委員長】 それでは、本件につきまして、ご意見、ご質問等がございましたらよろしくお願いたします。何分、一括審議ですのでかなりシンプルな説明ですが、おそらくもう少し詳しい資料を委員の先生方はお持ちだと思いますので、質問においてはそれを使っただけでも構わないかと思います。いかがでしょうか。よろしいですか。

ちなみに、便益のところを見せていただくと、2つとも総合水系環境整備事業という点で似ています。いずれも支払意思額と世帯数で便益が出てくるのですが、九頭竜川が4600円ぐらいで11.6万世帯、次の円山川が5600円で5.9万世帯ということであり、便益の大小関係と合わない感じがするかと思います。それは、Q&A集に書いてあると思いますが、便益の計測時期が違うので、社会的割引率の影響が変わってくるためです。もしかしたら委員の皆様の中にも、支払意思額と世帯数を掛け合わせると、便益の値が両方の事業で合わないような感じがするかもしれませんが、それは社会的割引率の影響ということとです。

支払意思額については、類似の案件について日本全国で月・世帯当たり大体2000円から6000円だと思います。今回はその範囲内なので問題ないですが、今後もしも範囲外のことがあれば追加の御説明をいただけたらと思う次第です。あらかじめ言っておきたいと思っています。

中身はもちろん違いますが、次も総合水系環境整備事業という点では同じですので、もし何かありましたら次の議題のところでもご質問、ご意見をいただければと思います。

それでは、まとめに入らせていただきたいと思います。よろしいですか。

それでは、九頭竜川総合水系環境整備事業の審議結果ですが、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切であり、対応方針（原案）のとおり、事業継続とすることが妥当と判断されたいのですが、よろしいでしょうか。

（首肯する委員あり）

【委員長】 ありがとうございます。

それでは、続きまして、次の案件に移らせていただきます。次は円山川総合水系環境整備事業についてです。

「円山川総合水系環境整備事業」

【委員長】 それでは、本件についてのご意見、ご質問等ございましたらよろしく願います。いかがでしょうか。

【委員】 一言だけよろしいですか。

中身はいいのですが、この資料は字が小さ過ぎて、老人にはつらいところがございます。『便益』のところなどはなかなかつらいので、何かもう少し工夫を願えたらということだけお願いしたいと思っています。

事業の意義については理解をしているつもりでございますし、このままお進め願えたらと思っております。

すみません、余計なことを言いました。以上でございます。

【委員長】 ありがとうございます。それは事務局で検討いただけるということでしょうか。あの表のことですね。

【事務局】 B／Cの計算シートの細かいところは、様式として決まっているところがありますが、事務局で一度考えてみたいと思います。ご意見ありがとうございます。

【委員】 すみません。中身としてはたくさん、おそらく情報量が多くていいと思っていますが、読むほうのこともまたお願いします。

【事務局】 分かりました。ありがとうございます。

【委員長】 ほかにいかがでしょうか。

先生、お願いします。

【委員】 2件ともに通じる話かと思いますが、新技術の開発とか新工法によってコスト減ということも積極的に図っていくというお話があったと思います。確かにコスト縮減を図ることが大きな目的、効果ではあると思いますが、一方でチャレンジング的に新しい工法を取り入れていくということでのコスト増、一方でいろんな削減をやりながら、プラマイで相殺されながらトータルとしてはその中に収まっていくというのであれば、いろんなことをやっていくということも1つの評価の対象、今後のことを考えたときの評価になるのかと思います。その辺りについては、こういう評価の中ではどのように考えたら

いいのか。それを現場の中で、いろんなタイムラグというか、同じ時点ではないかもしれませんが、実際にそういうことを考えながら事業、新しいものを取り入れるだとか選択していくということがあるのかどうか、その辺りについて少し聞かせていただければと思いますが、よろしいでしょうか。

【事務局】 まず、コスト縮減については、掘削土の再利用とか、効率的な維持管理とか、今までもやってきているところですが、流用土をほかのところに使ったり、そういったところでやっていくと。特に新技術・新工法につきましては、いろいろ事業を進めていく上で新しい技術を取り入れて、またそれが普及されることによって技術が進歩していくといった一面もあるかと思います。コストも必ずしも上がるかというと、そうではないものもあったりして、そういうことも含めて、やはり技術の進歩を含めて、新しい技術を取り組んでいくというところかと思ってございます。

【委員】 ありがとうございます。ぜひ積極的に取り入れて、今後に役立てるという方向で進めていただければと思います。ありがとうございました。

【委員長】 ありがとうございます。

おそらくですが、この円山川の件は、便益と費用が、7億円しか差がありません。そうすると、新工法を導入してプラス7億円以上になるとまずいことになりますね。先生はそこまではおっしゃっていないのですが。プラス7億円以上かかるような技術は入れられないということにもなるので、その辺はどうなのかということでもあります。

【事務局】 費用は全体事業で決まっておりますので、その中で工夫してやらせていただきたいと思います。

【委員長】 先生、お願いいたします。

【委員】 ありがとうございます。

この円山川の事業そのものについては全く異論のないところですが、関連して、今回、湿地再生、湿地をつくり出すところで休耕田を利用するとか、あるいは遊水地のところでも、市の公園と水田だったところを買収して遊水地にするということをされたようですが、この事業以外で、例えば河川区域内の堤外民地とか、そういったものを活用するような計画というのはほかにもあるのでしょうか。直接この事業とは関係ありませんが、今後のために教えていただきたいと思います。

以上です。

【事務局】 うちの事務所としてはないのですが。

【事務局】 遊水地も今、円山川とか大和川とかでも進んでおりますので、そういったところでも基本は買収をしながらというところになっております。ただ、河川は、堤外民地というのはまだほかにもたくさんありますので、そういったところの対応としても1つのこういう施策も有効ではないかと思います。今後の計画にも、効果があればとか、条件が整えばしていきたいという思いでございます。

【委員】 分かりました。どうもありがとうございます。

【委員長】 ありがとうございます。

それでは、ほかにいかがでしょうか。

各先生方が質問されたQ & Aのリストの中の2つ目、同じ総合水系環境事業ということなので九頭竜の箇所にあったと思いますが、「CVMで世帯数を乗じているが、人口は減っている中で世帯数が増えているということが起こっているので、世帯ではなくて人数を掛けなければいけないのではないか」という質問が出ています。回答を見ると、本省に伝えらなっており、ここで結論は当然出ないということは分かっているのですが、間違えているかもしれませんが、私の解釈では、CVMは経済学の理論に基づくもので、公共財は家計という単位で進められます。おそらく、その理論的整合性のために世帯が使われているのではないかと考えています。ただ、この委員が指摘されているように、そうであっても、家計を構成する人を適切に反映しているのかという問題は残るとは考えています。

結構大事な問題提起だと思ったので取り上げてみました。宿題ではないですが、持ち帰っていただければと思います。

ほか、よろしいですか。

それでは、まとめに入らせていただきたいと思います。

それでは、円山川総合水系環境整備事業の審議結果ですが、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切であり、対応方針（原案）のとおり、事業継続することが妥当と判断されるといたしますが、よろしいでしょうか。

（首肯する委員あり）

【委員長】 ありがとうございます。

それでは、本日、2件の一括審議の審議は全て終了となりました。委員の皆さん、短い時間でしたが、御協力どうもありがとうございました。

【事務局】 御審議いただき、ありがとうございました。

ただいま、本日の議事録を作成しておりますので、もう少しだけお時間をいただければ

と思います。

【委員長】 それでは、事業評価監視委員会審議議事録（速報版）の確認を行います。
本日審議いただきました九頭竜川並びに円山川の総合水系環境整備事業につきまして、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切であり、対応方針（原案）のとおり、事業継続することが妥当と判断されるという結論といたしますが、改めまして、この速報版、よろしいでしょうか。

（首肯する委員あり）

【委員長】 ありがとうございました。それでは、議事録（速報版）につきましては、投影されている資料のとおり確認いたしました。

委員の皆様からほかに何かございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、審議を終了して、改めてもう一度事務局にマイクをお返しいたします。

【事務局】 以上をもちまして、令和7年度第2回近畿地方整備局事業評価監視委員会を閉会といたします。委員の皆様、御審議をいただき、誠にありがとうございました。

—— 了 ——